

新潮社の漢字講座《入門編》

# 「漢字は日本語である」

## 120分濃縮講座

『新潮日本語漢字辞典』編者／新潮社校閲部

講師 小駒勝美

日本語のための漢字辞典を編纂した講師が語る  
日本語の素晴らしさ、奥深さを実感できる  
漢字の話が満載です。

日本語の漢字は、世界で唯一の不思議な複雑な文字です。一つの漢字を、何通り、何十通りにも読み分けます。私が編纂した『新潮日本語漢字辞典』は日本語の漢字の迷宮を探検するための有力な武器になります。「漢字は日本語である」は日本語の漢字のキーワードとして、『新潮日本語漢字辞典』のキャッチフレーズに採用しました。これは、私が書いた新潮新書のタイトルでもあります。今回は、その意味をわかりやすく解き明かしていきます。

(文・小駒勝美講師)。



【日時】

2020年 11/12 (木)  
19:00~21:00 全1回  
(教室開場は30分前です)

※途中10分休憩をはさみます。

【受講料】

3,630円 (税込)

〈講師紹介〉

小駒 勝美 (ここま かつみ)

1954 (昭和29) 東京都生まれ。新潮社校閲部勤務。慶應義塾大学商学部、文学部卒業。1989年新潮社入社。『新潮日本語漢字辞典』を企画、執筆、編集する。漢字検定一級。JIS漢字委員、校正記号委員を務めた。著書に『漢字は日本語である』(新潮社)、『日本語文字・表記の難しさとおもしろさ』(共著・彩流社)。新潮社校閲部では文芸書、新潮選書などを手掛ける。2016年7月より「新潮社の漢字講座」、2018年より単発講座「新潮社の漢字講座(スペシャル体験編)」の講師も務める。

お申し込みは

- ・お電話 **03-3266-5776** (受付時間：平日10:00~18:00)
- ・新潮講座ホームページ (<https://kohza.shinchosha.co.jp/>)  
(コンビニ払い、クレジットカード払いをお選びいただけます)

にて承ります。

# 2010045

ヨム、カク、ミル、シル

## 新潮講座

〒162-8711 東京都新宿区矢来町71  
株式会社 新潮社 図書編集室  
TEL 03-3266-5776 (代表)  
<https://kohza.shinchosha.co.jp/>

【こんなにある! 日本の漢字の豊かな特色】 解説/小駒勝美

### その1「訓読」

現在、「訓読」をしているのは日本だけです。韓国では漢字は音読しかしません。英語のmountainを「やま」と訓読することを考えると、これがどんなに特殊なことかわかると思います。でも訓読は日本語と深く深く結びついています。

### その2「送り仮名・振り仮名」

日本語には「送り仮名」があるから、孤立語の中国語の文字を自由に活用させることができます。漢字と仮名が二重に作用する「振り仮名」は日本語表記の複雑さの極致です。

### その3「宛て字、熟字訓」

「宛て字」は中国語でも外国語を表記するときに使います。「仏陀」や「釈迦」は中国から伝わった宛て字です。熟字訓は熟語を一挙に訓読するという離れ技。「今日」を「きょう」、「閑話休題」を「それはさておき」と読む類です。

### その4「三種類の音読は日本だけ」

「行」は、行進の「コウ」=漢音、行列の「ギョウ」=呉音、行脚の「アン」=唐音と、三種の字音を使い分けています。

### その5「平仮名、片仮名」

平仮名と片仮名は、漢字から作られた日本独自の表音文字です。仮名があるから我々は日本語をすべて書き表すことができます。

「新潮社の漢字講座」  
小駒勝美講師の編著書

(左) 日本ではじめての「日本語としての漢字」を引くための辞典『新潮日本語漢字辞典』を執筆、編纂。/ (右)『漢字は日本語である』(ともに新潮社刊)。



教室のご案内



<交通のご案内> 東京メトロ東西線「神楽坂」駅2番出口より徒歩30秒  
<神楽坂教室住所> 東京都新宿区矢来町109 神楽坂ローズビル3F

☆日程が変更される場合がございます。ご了承下さい。

☆講師の病気、受講者の人数が一定数に達しないなど、諸条件によって中止になる場合があります。

☆個人情報は、受講連絡、講座企画の資料、弊社からの各種ご案内にのみ使わせていただきます。

☆お支払いいただいた受講料は、欠席の場合でも原則としてお返しいたしません。

☆神楽坂ブック倶楽部(KBC)会員は受講料が5%割引になります。



(上) 発売当初はオビに小駒講師本人が登場しています! 撮影/新潮社写真部。(下)『新潮日本語漢字辞典』のカバーを外すとあらわれる熟字訓の数々! 装幀/新潮社装幀部。